

国指定重要無形民俗文化財
ユネスコ無形文化遺産

令和8年

7/26 日

宵祭 天王橋出発 午前8時

8/1 土

宵祭 天王詣り 午後2時
宿囃子 午後7時30分
飾橋出発 午後8時15分

8/2 日

朝祭 飾橋出発 午前9時30分

須成祭

須成百日祭

定め
児入り
宿刈
宵祭
朝祭
神流し
棚上り
中湯立て
棚下し



主催／蟹江町須成区・須成文化財保護委員会・富吉建速神社・八劍社
協賛／蟹江町観光協会 写真提供／加藤俊男
後援／蟹江町・蟹江町教育委員会・中日新聞社

「須成祭」ってどんなまつり？

スマートフォンで
スポット情報を共有
AichiNow

すなりまつり 須成祭について

蟹江町北部の須成地区に伝わる須成祭。須成は古くから農業と商業を生業としてきた地域で、須成祭は地区の氏神である^{とみよし}富吉建速神社・^{はちけんしゃ}八剣社両社の祭礼として行われています。祭りの起源は定かではありませんが、疫病退散を祈願する^{てんのう}天王信仰に由来する祭りで、江戸時代には行われていたといい、寛文年間（1661～1673）に編さんされた『寛文村々覚書』にも記録があります。

須成祭は、「車楽船行事」と、「神葭流し」に関わる一連の行事で構成されています。「車楽船行事」では、8月第1土曜日に「宵祭」、翌日曜日に「朝祭」が行われます。「宵祭」では提灯で飾られた^{まきわらぶね}巻藁船が、「朝祭」では人形を載せた車楽船が蟹江川に浮かび美しい姿を見せます。

「神葭流し」は、川に茂る葭を刈りこれをご神体として祀り一切の災厄を封じ込めて川へ流し、人々の豊かな生活を祈願するために行われます。朝祭の一週間前に「葭刈」があり、白装束の若者が舟で蟹江川を下り、川に茂る葭を刈ってきます。祭りではこの葭をご神体として神社の祭文殿に安置し、朝祭翌日の「神葭流し」で災厄を託し蟹江川に流します。そして翌日の「棚上り」で神社境内の棚に祀り住民が毎日参拝します。御神葭様は75日後の「棚下し」で燃やされすべての行事が終了します。このように朝祭22日前の「稚児定め」から100日間にわたり数々の行事が続くことから須成祭は別名「百日祭り」とも呼ばれています。

現在、須成文化財保護委員会を中心とした地元の人々の手で祭りの伝統が受け継がれており、2012年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。さらに2016年には、国の「山・鉾・屋台行事」を構成する33の祭りのひとつとして、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

令和8年 須成祭予定

※天候などにより変更することがあります。

○7月26日（日）葭刈（よしかり）

午前 8時00分 天王橋出発

※葭を刈る場所は非公開です。蟹江川を下る姿をご覧ください。

○8月 1日（土）宵祭

午後 7時30分 宿囃子（須成公民館）

8時15分 船が飾橋を出発

55分 御葭橋通過

9時10分 天王橋到着

○8月 2日（日）朝祭

午前 9時30分 船が飾橋を出発

10時20分 天王橋到着

30分 天王囃子（神社）



解説文：蟹江町歴史民俗資料館